

こんにちは

うみ議会です

2024.8.7

No. 94

うみ議会だより
6月定例会

見て見て!!
カメにさわれたよ!

P2 消防団 団長・分団長の熱い思い

P4 6月定例会

P7 一般質問 町政を問う5人が登壇

P13 委員会活動報告

16ページに表紙関連記事を記載

Koe Meter

声メーター

実施中!

議会広報が聞いたみなさんの声
2022.3から

101

町民の生命・財産を守る 消防団の熱き思いを聞く



能登半島地震が記憶に新しい昨今災害に対する意識が問われている中、消防団に対する期待が高まっている。宇美町消防団は現在10分団あり、団員は全151名。議会だより取材班は消防団のリアルに迫った。(敬称略)



団 長 柴田 靖

災害が起きないように日々地域巡回や声かけなどを徹底して全団員とともに防災活動に全力を注ぎます。

本部分団長 永島 直人

団員がいつでも活動できる体制で持続可能な本部分団作りを目指し、新分団員を確保します。

第1分団長 稲永 真吾

団員の操法大会を通して技術の向上を図り災害時には即対応できる分団を目指します。

また、日々明るく、元気に活動に励んでいるので応援お願いします。



仕事を終えた後で夜間練習に励む団員



写真左から柴田団長、日高副団長、櫻木副団長

第2分団長 小林 孝昭

地域の防災力として自分を中心に団員の技術力を高め、次世代の団員の技術継承に努めます。

第3分団長 牟田 宣広

地元団員が少ないので地域の方々との密着度を高める活動をします。また、幅広い年齢層なので楽しみながら活動していきます。



本番さながらの気合のこもった声が響く



第6分団長 竹内 文樹

平時より機械などの整備を行い、災害時には即対応できる組織にしていきます。年齢も高いので、若い団員確保に努めていきます。

第4分団長 世利 龍一

任期2年の間に団員をまとめ4分団の発展に貢献できるよう頑張ります。若い団員が多く、楽しく活気あふれる分団です。新入団員を待っています。

第7分団長 村上 景太

若い分団なので日々成長して行く過程で知識や技術を身につけ、地域に貢献できるよう活動していきます。

第5分団長 瀬川 善則

地域への貢献を重視して地域コミュニティと協力し、これからは団員の確保が大事なので勧誘を勧めていきます。

第9分団長 川上 健太

事故などが無いように団員みんなの士気を高め活動していきます。また、団員同志の仲が良く、楽しい分団なのでぜひ入団してください。

第10分団長 黒川 竜之介

任期の間に自分ができることをしっかりと把握して、団員とともに楽しく活動していきます。



南部消防署からの指導を受ける団員



取材を終えて

5月14日(火)、操法大会を間近に控え、忙しい中、快くインタビューに応じてくださった団長および関係各位に感謝します。

改めて日々、町の安全のために奮闘する団員の姿を目の当たりにして、もっと多くの方に消防団の活動を知っていただきたいとの思いを強くもちました。

今後も議会として団員確保などの支援に努めていきます。

6月定例会の概要



動画でご覧
いただけます。

6月定例会は、6月11日から6月18日までの8日間の会期で開かれました。町長から提出された案件は補正予算をはじめ、専決処分、条例など9議案が提出され、全てを原案通り可決しました。

一般質問では5名の議員が、教育、災害、行財政、子育てなど9項目を質問しました。

6月定例会

専決処分

国民健康保険 条例の一部改正

地方税法の改正に伴う課税限度額の改正

鳴海 圭矢 議員

問 軽減判定所得基準額の改正の影響は。

答 前年度軽減世帯が今年度軽減から外れないようにするための措置。軽減世帯への影響はない。



財産の取得

小中学校 電子黒板購入

新しい時代に対応した教育の推進のため、電子黒板の購入を行う。

小学校25台、中学校15台設置

869万円
で契約

問 電子黒板と液晶テレビの違いは。

答 液晶テレビは画面で操作できないが、電子黒板は通常の黒板のように画面に書き込んだり画像を貼り付けたりできる。

丸山 康夫 議員



電子黒板を使用した分かりやすい授業



原田小学校
半田 校長

宇美南中学校
島浦 校長

電子黒板は直接の操作や書き込み、データを保存することが出来るため、教師と生徒の情報共有が行え、画面も大きくなることで視認性や作業性の向上に繋がります。教師への負担軽減、学力アップのため、将来は全教室への配置を望みます。

高橋 紳章 議員



ひばりが丘団地側のり面ほか1カ所の動態観測調査を追加

一般会計
補正予算

ひばりが丘 のり面災害復旧

増額

1450万円

問

動態観測調査業務委託の内容は。

答

24時間の連続監視体制の構築と広範囲なデータをもとにした効果的な工法検討への活用

財産の取得

第4分団小型動力 ポンプ付積載車

車両の老朽化に伴い更新を行う。



第4分団
世利 龍一 分団長

新車両の導入により防災力の向上が期待されます。団員一同訓練を重ねることで技術力を高め、迅速かつ効果的な対応を心掛けます。不測の災害に備え、住民の皆さんの安全と安心を守っていただけるように取り組んでいきます。

2475万円
で契約

丸山 康夫 議員



日本相撲協会より派遣される親方1人と所属力士2人が講義と実技指導を実施

一般会計
補正予算

宇美町少年相撲教室

新規

29万円

問

日本相撲協会よりまわしが50本寄贈されると聞いている。どう活用しようと考えているのか。

答

子ども相撲クラブができるのが理想。再建された相撲場を活用し、子どもたちへ体験の場を提供するなど普及啓発に取り組み、機運を高めていきたい。

安川 禎幸 議員



宇美東小学校内に校内教育支援センターを新設する。

一般会計
補正予算

早期アプローチを 重視した不登校対策 校内支援充実事業

問

校内教育支援センターとは。

答

従前の適応指導教室の名称を変更した。新設する校内教育支援センターに専任指導員を1人配置する。

新規

122万円

審査した議案と各議員の賛否

○は賛成 ×は反対を表しています

議案名	議員名	小林孝昭	安川禎幸	高橋紳章	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	入江政行	黒川悟	鳴海圭矢	白水英至	藤木泰	審議結果	討論
専決処分の承認 (令和5年度宇美町一般会計補正予算(第8号))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
専決処分の承認 (町税条例の一部改正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
専決処分の承認 (宇美町国民健康保険税条例の一部改正)		○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	承認	反対:鳴海 賛成:安川(禎)
財産の取得 (第4分団小型動力ポンプ付積載車購入)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
財産の取得 (電子黒板購入)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
工事請負契約の締結 (令和6年度 宇美小学校校舎外壁等改修工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町行政手続における特定の個人を識別するための 番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用 に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決	反対:鳴海 賛成:安川(禎)
宇美町特定用途制限地域内における建築物の制限に 関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度宇美町一般会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

※古賀ひろ子議長に表決権はありません。

討論

私は

反対

私は

賛成

討論とは採決を行う前に、議題に対して、議員が賛成または反対の意見を表明することです。



宇美町国民健康保険税条例の一部改正

反対

鳴海議員

国民健康保険税が高く、年収の1割近くを負担する世帯もあり町民の生活を圧迫している。

国保加入世帯は、所得が多くない世帯が多く、課税限度額の引上げは被保険者間で負担をたらいまわしにしているだけであり、国庫の負担率を上げることが一番の解決策であるため、反対討論とする。

賛成

安川(禎)議員



国民健康保険税の後期高齢者支援金等分の課税限度額の改正であるが、診療報酬が値上げされ、医療費が高騰する後期高齢者医療制度に対して支援が必要と考える。

同時に軽減判定所得の基準額も改正されており低所得層に対する配慮もなされている。よって賛成討論とする。

宇美町行政手続における特定の個人を識別するための
番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正

反対

鳴海議員

マイナンバーカードというシステムに大きな懸念を持っている。国はマイナンバーカードを進めているが、セキュリティホールを解決するまではいったん止めるべきと考え反対討論とする。

賛成

安川(禎)議員

この条例改正は、行政手続に関するもので、自治体DXの推進と国民の生活の利便性を高めるためにも必要なものである。よって賛成討論とする。

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いただすことです

掲載内容は、質問者自身が要約し、広報委員会で校正しています。

白水 英至 議員 8P

◆持続可能で生徒たちが望むスポーツ環境に

丸山 康夫 議員 9P

◆折居教育長の方針は

黒川 悟 議員 10P

◆災害時のトイレ対策は

安川 禎幸 議員 11P

◆持続可能な行財政運営は

鳴海 圭矢 議員 12P

◆こども誰でも通園制度は実現可能か

一般質問

町政を問う5人が登壇



議会をもっと身近に ライブ配信・録画配信



宇美町議会では令和4年9月から定例会の録画配信と12月からライブ配信を行っています。

ライブ配信は、議会の傍聴に来ることができない方のために生中継で配信しています。

録画配信は、議会のホームページから議案審査や一般質問の様子をいつでもご視聴いただけます。字幕付きですので、音声聞き取りにくい方にも分かりやすくご覧いただけます。

議会のライブ配信
録画配信はこちらから

ライブ配信視聴回数

年度	令和4年	令和5年	令和6年
回数	79回	531回	395回

録画配信視聴回数

年度	令和4年	令和5年	令和6年
回数	956回	1096回	119回

※5月31日時点の視聴回数

私の視点「なぜここを質問したか」

部活動は、部員不足や教員の働き方改革により活動ができていない。中学生が不安なく、安心して好きな競技に打ち込めるよう改善すべきだ。



しろず えいじ
白水 英至 議員

持続可能で生徒たちが望む スポーツ環境に

答弁(教育長) 地域移行を着実に前進させる

録画配信は
こちらから▶



問 部活動の地域移行を行う
目的は。

答 学校教育課長

休日の部活動指導は教員にとつて負担であり、教員のなり手不足にもつながっている。また、競技経験がない教員の指導力不足を解決するための方策である。

問 外部指導員などの地域連携の現状と報酬は。

答 学校教育課長

3中学校で8人の登録。報酬は、時間に関わらず1回の指導で1000円の支払い。

問 国は令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図っている。当町も先駆けて実践活動が行われているが、活動内容と効果は。

答 学校教育課長

土・日いずれかの日に半日程度の活動を行っており、専門的な指導者の下で、生徒たちの技術向上につながっている。

問 町が考える持続可能で有意義な運動部活動の将来像は。

答 学校教育課長

運動部活動自体が少子化や入部率の低下により存続が厳しい状況となっている中、地域クラブ活動への移行で、専門的な指導を受けられることがメリットと考えられる。宇美町地域クラブ活動推進検討委員会で、関係者の意見や地域の協力も得ながら、土・日の活動を地域クラブに移行するよう検討している。

問 将来的には、平日を含めて全ての部活動の移行を目指すとしているが、見解を求める。

答 教育長

部活動地域移行の最上位目的は、本町の中学生がやりたいと思うスポーツ活動に速やかにアクセスできること。

好きな活動を通して仲間が増え、生活が充実し成長ができた、スポーツが楽しいと実感できるような平日の地域移行を着実に前進させる。

併せて、中学校の先生方が宇



少ない部員で活動する野球部

質問を終えて



生徒たちが、大好きな競技を楽しく続けられるように、少しでも早く実現されることを願い、教育長のリーダーシップに期待する。

美町で働きたいと思ってもらえるような部活動の地域移行になるよう全力で進めていく。



私の視点「なぜここを質問したか」

子育て世帯の流入を促進し町を元気にするために、教育行政が抱える課題を明らかにし、学校教育・社会教育・子育て支援を底上げするための方針を問う。

折居教育長の方針は

まるやま やす お
丸山 康夫 議員



録画配信は
こちらから▶

答弁(教育長) 確かな学力の向上に結び付けたい

問 町の教育力アップは真つ先に取り組むべき最優先課題であると考えます。

答 子どもたちの学力の現状および学力向上に向けた具体策は。

答 教育長

直近5年間の推移は、小学6年生の国語で向上傾向、数学で横ばいの状況。中学3年生の国語と数学で低下傾向である。

児童生徒の主体的な学びを支える安全・安心な居場所づくりを基盤に、確かな学力の向上に結び付けたい。

問 地域教育力が衰退していると考えますが、現状分析および地域教育力向上に向けた具体策は。

答 教育長

子ども会育成会連絡協議会や婦人会がなくなり、PTA役員の担い手も減っており大変危機感を持っている。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を、小学校区コミュニティや自治会をはじめとする地域団体と連携し、特に防災をテーマに世代を超えた学び

の輪を構築していきたい。

問 部活動地域移行の将来像は。

答 教育長

最終的には法人化された関係団体の下に、平日も地域移行することがゴールであると考えています。

また、宇美町の教職員は部活動をしなくても良い、兼職兼業で行うこともできると思っています。ただけることも目標としている。

問 志免町や粕屋町では、災害時の避難所としても使われる学校体育館にエアコンを設置する動きが出てきたが、本町でもエアコンを設置すべきでは。

答 教育長

学校体育館にエアコンを設置する折には、避難所となる施設を優先的に、自家発電機能を備えたエアコンを検討していきたい。

問 不登校の現状と今後の対策は。

答 教育長

先日開催された運動会・体育会に約50人の子どもが参加でき

ていない。ほぼ同数が不登校と考えている。
児童生徒が学びの場に合わせるのではなく、学びの場が児童生徒に合わせていくことが必要だと考えている。

質問を終えて



本町の教育改革の方針がしっかり見えてきた。「子育てするなら宇美町で」のスローガン達成に向けて力を合わせて取り組みたい。



ふみの里スポーツクラブ指導者による陸上部の練習

私の視点「なぜここを質問したか」

避難所では人間の尊厳や命に関わるトイレ問題が潜在する。トイレ不足により飲食を控えるなど、2次災害が懸念される。災害時のトイレ対策と備えを問う。



くろかわ さとる
黒川 悟 議員 議員

災害時のトイレ対策は



答弁(町長) 住民の生命と財産を守ることが最大の使命

録画配信は
こちらから▶

問 各自治体には災害時のトイレ確保・管理計画の策定が求められているが、本町の現状は。

答 地域コミュニティ課長

宇美町地域防災計画に基づき、トイレの確保を進めている。特に、避難所運営マニュアルにはトイレの必要台数など衛生管理を含めた管理体制を明記している。

問 携帯トイレの備蓄の現状と今後の方針は。

答 地域コミュニティ課長

平成24年に福岡県が実施した地震に関する防災アセスメント調査報告書を基に計算したトイレの必要数は約13500回分で、当町は自動ラップ式簡易トイレや組み立て式簡易トイレを合計44台、7420回分整備しているが、必要想定数の約半分程度の備蓄状況となっている。今後、必要想定数に近づけるよう年次的にトイレの確保に努める。

問 被災地では、快適で衛生的なトイレトレーラーが仮設トイレよりも活躍したと聞いたが購入を検討しては。

答 地域コミュニティ課長

トイレトレーラーは、災害時だけではなく、各イベントやラッピングによる観光PRにも利用できる利点もある。

緊急減災・防災事業債の対象となり、全国的にも整備が進んでいる。本町も導入に向けて、調査研究し、整備を検討したい。

問 本町の今後の防災力向上に向けた取組は。

答 町長

住民の生命と財産を守ることが私たちの使命であると考えている。

本年3月に町の防災指針となる宇美町地域防災計画の改定を終えたので、この計画に基づき、ソフト面・ハード面の両面しっかりと対策を進めていく。

近い将来に必ず起こりえる災害に備える必要があるため、優先順位をつけながら、必要なも

のから確実に整備をしていきたいと考えている。

質問を終えて



災害時のソフト面、ハード面の両面について引き続き計画的に対策をし、トイレトレーラーの導入にも大変前向きな答弁だった。当町の防災力向上を期待している。



トイレトレーナー



私の視点「なぜここを質問したか」

第7次総合計画が目指す～「このまちが、いい。」わたしたちの誇り 宇美～を実現するためには持続可能な行財政運営が必要である。今後の行財政運営を問う。

持続可能な行財政運営は

やすかわ よしゆき
安川 禎幸 議員



録画配信は
こちらから▶

答弁(町長) 財政基盤の確立が重要

問 令和6年度一般会計当初予算で財政調整基金繰入金が増えた要因は。

答 企画財政課長

人件費の増、扶助費の増、後期高齢者医療繰出金の増などにより財源不足が生じ、財政調整基金を充てる必要が生じたため。

問 令和4年度決算における経常収支比率(注①)、財政力指数(注②)悪化の要因は。

答 企画財政課長

経常収支比率は90・9%で90%を超え、財政力指数は0・59で糟屋地区で最も低い。要因は物価高騰による物件費の増などで、依存財源(注③)に頼った財政状況になっている。

問 町の財政の特徴と今後の課題は。

答 企画財政課長

65歳以上の高齢化率が他町よりも高く医療費の増加が今後も続く。子育て施策も充実させる必要があるため、扶助費の増が見込まれる。

また、公共施設が多く大規模改修や維持補修に多額の予算が必要なため、計画的に事業を実施する必要がある。

問 今後の財源確保の考えは。

答 企画財政課長

町税収納の強化、ふるさと応援寄附金のPR、国庫の補助金や地方債の活用を行っていききたい。また基金を運用して、利率が高い債権の購入を行っている。

問 第7次総合計画の町の目指す姿「このまちが、いい。」私たちの誇り宇美の将来像は。

答 町長

まず財政基盤の確立が重要。財源確保の新たな取組として昨年度から、企業版ふるさと納税を開始して企業より支援を頂いている。

また、昨年の行政機構改革で収納対策室を設置して収納の強化を図った結果、約7千万円の増収となり早速効果が表れている。町民の皆様「このまちが、い

質問を終えて

町長自ら先頭に立ってふるさと納税のPRを行っている。財政基盤確立に向けた全庁的な取組を期待する。

注① 経常収支比率 人件費、扶助費など経常的に支出する経費が、地方税・地方交付税などの経常的な収入に占める割合。%が低いほど財源に余裕がある。

注② 財政力指数 基準財政収入額(標準的な税収入)÷基準財政需要額(行政運営に係る経費)「1」に近い、「1」を超えるほど財源に余裕がある。

注③ 依存財源 国や県のルールに定められて交付される収入

い」と誇りに思っていた施策を展開することが重要と考える。

私の視点「なぜここを質問したか」

国が2026年度に実施を目指す「こども誰でも通園制度」は子どもの安全や保育士の確保など懸念される点がさまざまあるが、町の見解を問う。



なるみ けいや
鳴海 圭矢 議員

こども誰でも 通園制度は実現可能か

答弁(教育長) 民間委託または町立保育園で実施可能と考える

録画配信は
こちらから▶



問 この制度を実現する上で課題は。

答 こどもみらい課長

① 子どもの安全の確保。アレルギーや子ども自身の特性など、必要な情報を事前にしっかりと把握することが必要。

② 実施事業所の問題。待機児童が改善されない時に、各園でさらに受け入れが可能か。

③ 保育現場の負担増。新規預かりの子どもが環境に慣れない場合など、保育士の負担が増えることが想定される。

問 保育士の確保が重要と考えるが、現状と確保のための取組は。

答 こどもみらい課長

現状は保育士は足りていない。現在、ハローワーク、福岡県保育人材総合支援サイト「ほいく福岡」などに求人情報を掲載。また民間の情報サイトにも求人広告を掲載する。

問 保育士の待遇改善は。

答 こどもみらい課長

令和4年2月より国による処

遇改善措置が行われ3%(9000円)程度の給与が引き上げられ、現在も継続している。

また、保育士に限らず今年度より勤勉手当の支給が始まり、正規職員と同じ4.5月分の賞与が出る。

問 制度を実施できる体制を整えることは可能か。困難であれば国に支援を訴えるべきではないのか。

答 こどもみらい課長

令和8年度からの本格実施に向けて令和5年に発足した「うみ園長会」で協議していく。委託を受ける民間保育所がなかった場合は、保育士確保の課題があるが町立保育園での事業実施は可能だと考えている。今のところ国に何らかの支援などを訴えるという予定はない。



こどもに関する相談はこどもみらい課へ

質問を終えて



保育士の確保と待遇のさらなる改善が喫緊の課題。子どもの安全が確保されるか、現場の意見もふまえ、十分注意して見守りたい。

避難所設営訓練を実施

6月18日(火)に町立武道館で、宇美町議会防災訓練(避難所設営訓練)を行った。

避難所を開設する際には、役場職員がパーティションや簡易ベッドなどを設置しているが、我々議員もそれぞれの地域の避難所では、主体者となることが望まれており、日頃の備えと学習が大切だ。

ほかにも発電機の動かし方や、簡易トイレの設置方法なども学んだ。



簡易ベッドの設置も楽じゃない



発電機の動かし方・簡易トイレの設置を学習



パーティションはフロアに30基ほど設置することも

全議員の防災士資格取得を目指す

宇美町議会では、地域の防災リーダーとして、平時には防災知識の普及啓発、災害発生時には避難支援や避難所運営などで活動するために、防災士資格の取得を進めており、現在12人中6人が資格を取得している。

防災士とは

”自助””共助””協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人です。



資格を取得した6人の議員



近年の気候変動で甚大な被害が各地で多発しています。災害が起きても慌てることなく対応できるよう防災士として、地域への対策に努めていきたいです。

令和5年度に資格を取得した
高橋 紳章 議員

自主防災組織に関する勉強会を開催

近年多発する大規模災害に備え、防災体制の確立が急務であり、本委員会では5月27日に宇美町内の自主防災組織の現状と将来像について、地域コミュニティ課と勉強会を行った。

自主防災組織とは・・・

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を防止し、軽減するための活動を行う組織。

自主防災組織がなぜ必要なのか・・・

災害が発生した場合、自分で自分と家族を守る「自助」が基本となるが、年齢や身体的な理由により、自分で自分を守れない場合がある。

また、大規模災害発生時は、行政・消防・警察などが全力を挙げて救助・救援などの「公助」を行うが限界がある。

地域住民の一人ひとりが、自主的、組織的に初期消火や情報伝達、避難誘導、救出・救護、避難所運営などを行うことが重要、「共助」の助け合いが必要となる。

自主防災組織設立のスケジュール・・・

町は、令和7年度までを目標に、自主防災組織の設立を促進している。設立に向けて、研修会（勉強会）を実施する。その後、各自治体単位または校区単位で協議を行い、自治会単位での自主防災組織の設立を目指す。

自主防災組織の設立後は・・・

避難訓練や避難所運営訓練などを定期的に行い、いつ災害が起きても対応できるような地域づくりを目指す。また、近年は自然災害ばかりではなく凶悪な犯罪など、安全安心な暮らしを脅かす不安要素が多様化しており、防災・防犯などに幅広く対応した取組が重要となる。

委員会より

今後は、全ての自治会で自主防災組織の設立を目指すことが重要であり、我々議員が防災士資格を取得し、自主防災組織を設立する際には、各自治会の役員さんとともに中心となって活動していきたい。



消火器の点検作業

町内の自主防災組織・・・

原田下自治会・福博鎌倉自治会・ひばりが丘二自治会・宇美東自治会・新成自治会・下宇美自治会・四王寺自治会・炭焼二自治会・明治町自治会・平成自治会・馬場自治会・井野自治会の12組織



自治会総出で開催する避難訓練



自主防災組織で作成した防災マップ

なぜ高い？宇美町の医療費

本町の後期高齢者の一人当たり医療費は、平成26年以降8年連続で県下1位となり、高額な財政負担が発生している。本委員会では医療費の適正化を図ることが急務と考え、5月28日に勉強会を開催し、健康課医療費適正化推進室から説明を受けた。

医療費などの現状

国民健康保険、後期高齢者医療の一人当たり医療費は昨年より増加している。また、後期高齢者医療は県下1位で、一人当たり介護給付費（介護保険から支払われている費用）は福岡県介護保険広域連合の中で最も低く、医療費は高く介護給付費は低いという状況になっている。

後期高齢者医療費および介護給付費はかかった費用に対して、定率の給付費を町の一般会計で負担しており、今後も増加することが予想される。

◇後期高齢者医療 一人当たり医療費の推移 (単位:円)

年度	H30	R1	R2	R3	R4
宇美町	1,337,499	1,399,932	1,363,164	1,379,831	1,398,809
県内順位	1位	1位	1位	1位	1位
福岡県	1,178,616	1,187,151	1,138,402	1,173,102	1,175,624
全国	943,082	954,369	917,124	940,512	—

◇介護保険 一人当たり介護給付費の推移 介護保険広域連合内比較 (単位:円)

年度	H30	R1	R2	R3	R4
宇美町	223,770	209,766	204,207	204,705	202,809
連合内順位	30位	33位	33位	33位	33位

※福岡県介護保険広域連合は33市町村で構成

医療費の分析

単価の高い疾患は以下。

- ①一回の治療で高額な医療費がかかる疾患:血管疾患
- ②長期入院を要し医療費が高む疾患:精神疾患
- ③継続的に高度な医療を要する疾患:人工透析

◇単価の高い医療サービス(後期高齢者医療)

☆1回の治療で80万円以上かかる疾患…1件当たり約126万円

区分	件数	費用額(円)	血管疾患		がん		整形疾患	
			件数	割合	件数	割合	件数	割合
合計	1,196	1,501,919,160	298	24.9%	182	15.2%	313	26.2%
500万円以上	12	83,685,280	7	58.3%	0	0.0%	0	0.0%
200~400万円台	81	222,271,710	29	35.8%	10	12.3%	18	22.2%
80~100万円台	1,103	1,195,962,170	262	0.0%	172	15.6%	295	26.7%

☆長期入院(6ヶ月以上)を要し医療費がかさむ疾患…1人当たり約450万円

区分	件数	実人数	費用額(円)	血管疾患		精神疾患		整形疾患	
				件数	割合	件数	割合	件数	割合
合計	2,104	247	1,111,999,760	447	21.2%	234	11.1%	640	30.4%
10年以上	199	17	96,347,160	12	6.0%	70	35.2%	25	12.6%
5~10年未満	568	51	304,213,470	110	19.4%	63	11.1%	159	28.0%
~5年未満	1,337	179	711,439,130	325	24.3%	101	7.6%	456	34.1%

町の取組

令和5年度では分析結果から予防可能な疾患への保健事業を実施。令和6年度の具体的な取組は、健診やがん検診の受診率向上を目指したセット割健診や早割健診の実施、SNSなどで健康増進PR動画配信し、周知に努めている。また、大学と連携した医療費分析を進め、予防可能な疾患への保健事業を実施していく。

委員会より

近隣町村では例がない医療費対策に特化した「医療費適正化推進室」が設置された。これは町の医療費高騰に対する危機感の現れであると思慮する。

健診受診率の向上が疾患の早期発見につながる。令和5年度国保特定健診の受診率は35.4%でまだまだ低い。町長自ら健診増進PR動画に出演するなど積極的な姿勢も感じられる。

医療費適正化を推進することで宇美町健康増進計画の基本理念「いつまでも健康でいきいきと暮らせるまちづくり」の実現に期待したい。

表紙にも掲載
しています議会広報
インタビューシリーズ

第13弾

子どもたちの
笑顔とそれを支える方々に
スポットを当てて
いきます

町立中央公民館講座「ビビッと★うみラボ」

町立中央公民館講座「ビビッと★うみラボ」では子どもから大人まで楽しく学べる、いろいろな講座が開かれています。

今回は「うみラボ★ファミリーたんけん隊 水辺の生き物」におじゃましてお話を伺ってきました。

命のつながりを感じてほしい

講師の一般社団法人まほろば自然学校の岩熊志保さん「宇美町の川にはサギやカワセミなどの鳥、コイやナマズなどの大きな魚も住んでいます。

みんなが見つけた小さな生物がいないと、大きな生物は生きていけません。それは人も同じで、命のつながりと大切さを学んでほしいです」と話されました。



カメに触ってみたよ！



前日の雨で実際に宇美川で観察ができませんでしたが、宇美川にいる「ミシシippアカミガメ」を観察し、外来種が生態系に影響を及ぼしていることを学びました。

注) 危険ですので、子どもだけでは川に入らないでください。

広報委員会より

ぜひ親子で参加して思い出をたくさん作ってほしいと願っています。

カワニナを見つけたよ！

貴船地区にお住いの世利さん親子は、川の砂や藻の中から、小さなカワニナ(ホタルの幼虫の餌になる)を発見。

「近所の川でゲンジボタルを見ることができるけど、カワニナがいないとホタルは生きていけない。あらためて自然の大切さと宇美町の豊かな自然環境の下で子育てできている喜びを実感しました」と話していました。



ヤゴを顕微鏡でじっくり観察



どんな種類のトンボになるのか興味津々。

このほかの講座は
こちらから

議会傍聴メーター

Gikaiboutyou
Meter2022年3月議会からの傍聴者 累計▶
6月定例会は9人が傍聴に来られました

194

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長	丸山 康夫
副委員長	鳴海 圭矢
委員	安川 繁典
委員	高橋 紳章
委員	安川 禎幸
委員	小林 孝昭

議会からのお知らせ

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)
定例会が開かれます。議会ホームページからは本会議の生中継が
ご覧いただけます。傍聴する場合は、役場3階の傍聴席入り口で
住所・氏名を記入ください。

次回の議会は9月9日に開会予定です。